

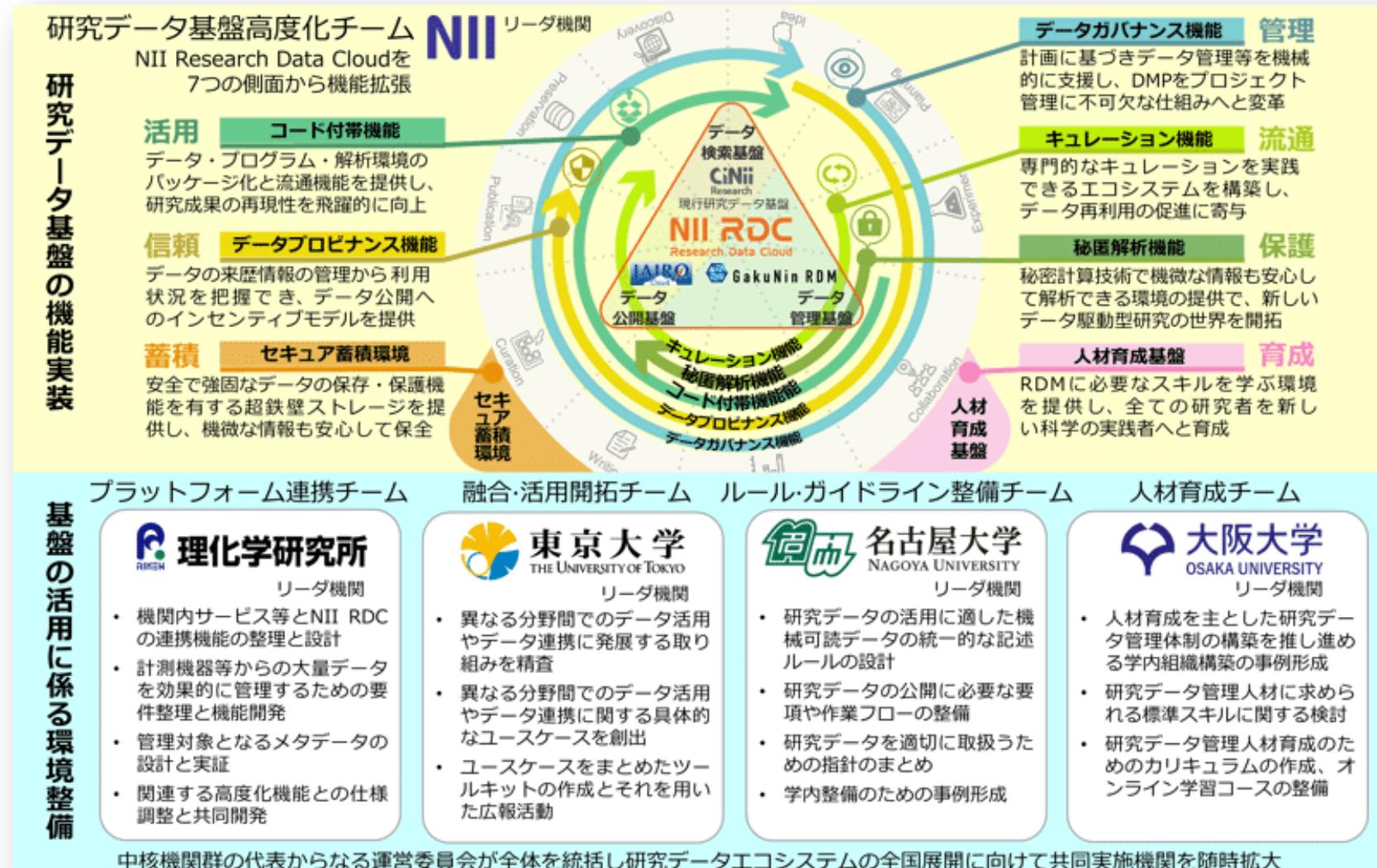
GakuNin RDM-Intellectra 連携による ディスカバリーサービス

西村浩二 (広島大学)

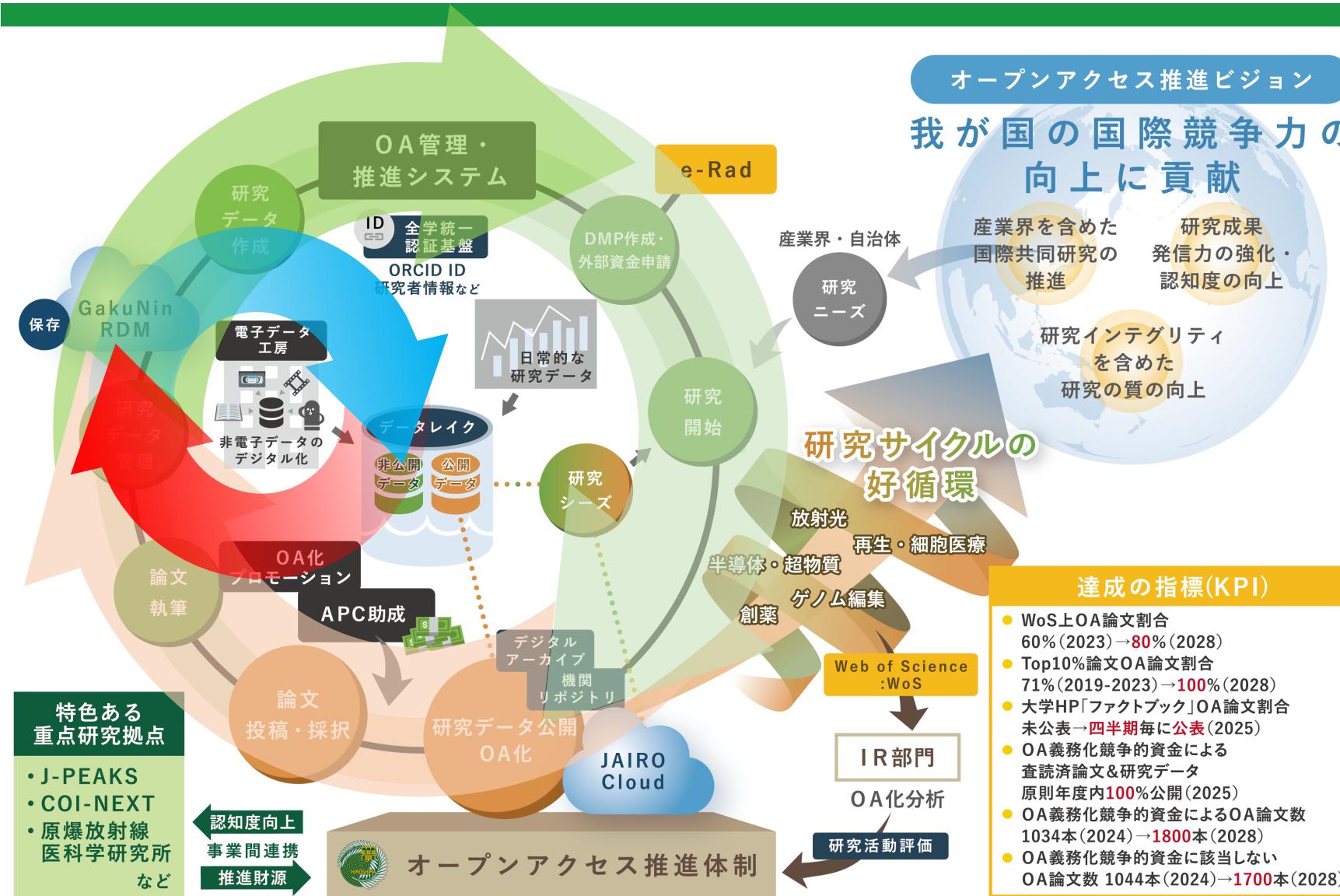
小山実里, 木村譲 (株式会社ページワン)

研究データエコシステム構築事業シンポジウム2025

AI等の活用を推進する研究データエコシステム構築事業



オープンアクセス加速化事業 (広島大学)



研究データ管理スタートアップ支援事業

NII RCOS
Research Center for Open Science and Data Platform

研究データ管理スタートアップ支援事業

AI等の活用を推進する研究データエコシステム構築事業

NIIと大学・研究機関が強力に連携して以下の事業を実践

- 研究データ基盤の更なる**高度化**
- 多角的なアプローチにより研究データ基盤の**全国展開**



2024年度開始済：

- 中国四国地区（広島大学）
- 九州沖縄地区（九州大学）



2025年度開始：

- 北海道地区（北海道大学）
- 東北地区（東北大学）

活動内容

- コンソーシアム設立
- セミナー開催
- 支援チームの派遣
 - *データポリシー策定
 - *セミナー講師派遣
 - *学内アンケートの実施・分析

NII RDCの全国的展開を強力に支援する地域の支援団体が発足し協働して事業を推進

中国四国コンソーシアム

- 当該地区における研究データ管理ポリシーの策定・運用の支援・推進
 - 当該地区設置機関の研究データ管理ポリシーの策定状況の把握
 - 研究データ管理ポリシーの策定や GakuNin RDMの構築・運用に関する情報共有を通して、OA加速化事業等を含む研究データエコシステムの構築を目指す
 - 「国立情報学研究所研究データ管理・公開ポリシー(試行版)」を雛型とした各機関への展開
 - 各機関の状況に即した基本方針及び実施方針(実施手順)の策定のための勉強会・情報交換会
 - シンポジウム・セミナーの実施(キックオフ、シンポジウム、勉強会)による情報共有
 - クラウドサービス利用シンポジウムや大学DX勉強会、AXIES各部会とのコラボレーション



中国四国コンソーシアム

- 研究支援活動におけるAI活用とDX推進
 - 文献調査システムIntellectraの共同利用
(→研究支援活動への利用)
 - 非定型ドキュメントを検索可能な形式に変換して利用
 - ドキュメントの言語に関わらず母国語で会話
 - 回答の生成過程の提示・確認による信頼性の確保
 - 個人・機関・コンソ全体会のデータソース選択・管理
 - 質問者と回答者のペルソナ(役割)を設定して利用
 - テナント内のデータの二次利用なし
 - GakuNin RDMとの連携
 - 将来は外部の公開データソース(CiNii Research, JAIRO Cloud等)との連携も
- AIを活用したDX研修の実施
 - Intellectra勉強会
 - セミナー(11月頃)、クラウドシンポジウム(2026/3/18-19)
(年度内2回開催予定)
 - Copilot勉強会(予定)
 - 機関毎/地区全体で勉強会を実施
 - Intellectraテナント外部からの教育利用などを想定
 - 大学DX勉強会と連携

01. 非定型なドキュメントの利用

非定型のドキュメントをアップロードする際に検索可能な形式に自動変換するため、画像や表の中の情報もデータソースとして利用できます。

02. 多言語対応

ドキュメントの言語にかかわらず、ユーザーが母国語で質問すると質問した言語で回答が生成されます。

03. 回答の透明性と信頼性

ユーザーは回答がどのように生成されたかを確認できるため、信頼性があることを確認したうえで情報を利用できます。

04. データソースの選択・管理

参照先のデータソースを選択できます。

- ユーザーがアップロードしたファイルの個人フォルダ
- コンソーシアム全体、大学全体など所属グループの共有フォルダ

なおアップロードしたファイルは、削除などの操作が可能です。

05. ペルソナ・会話スタイルの設定

チャットの設定画面では、ユーザーのペルソナ、回答スタイルを設定できます。

ユーザーのペルソナ

質問者(ユーザー)と回答者(システム)のペルソナ(役割)を指定して検索することにより正確な回答を提供できます。

ユーザーペルソナ: 教員
システムペルソナ: 学生

回答スタイル

必要な回答に応じて、長さと会話を変更できます。

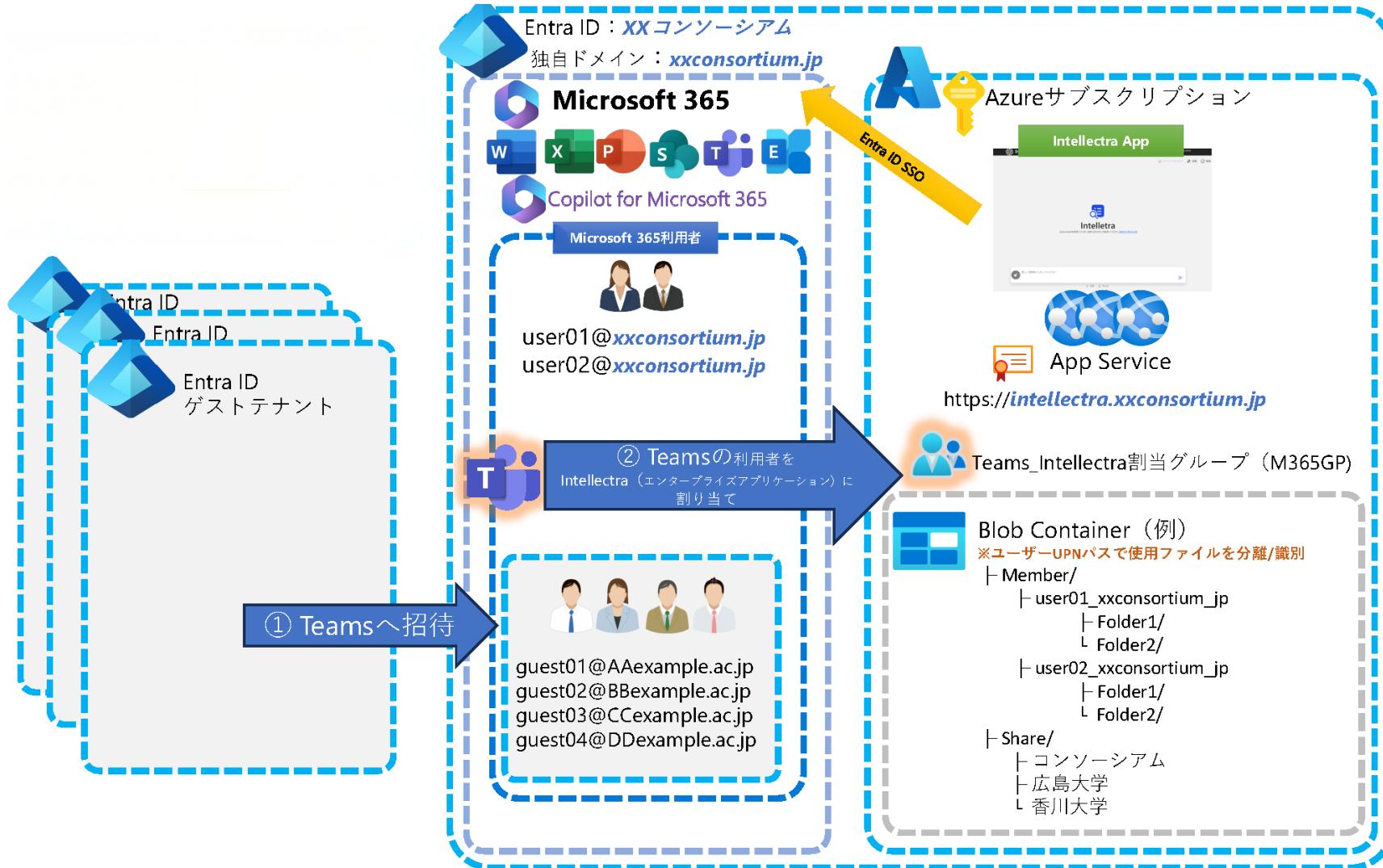
回答の長さ: 短い、標準、長い
会話タイプ: 創造的、標準、周密

06. セキュリティ対策

Intellectraでは、Azure OpenAIを使用しているため、会話データやデータソースとしてアップロードしたデータはOpen AI社やMicrosoft社のトレーニングデータとして二次利用されません。

またデータソースとしてアップロードしたデータはAzureテナント内に保管されるため、外部にデータが漏れることなく安全に利用できます。

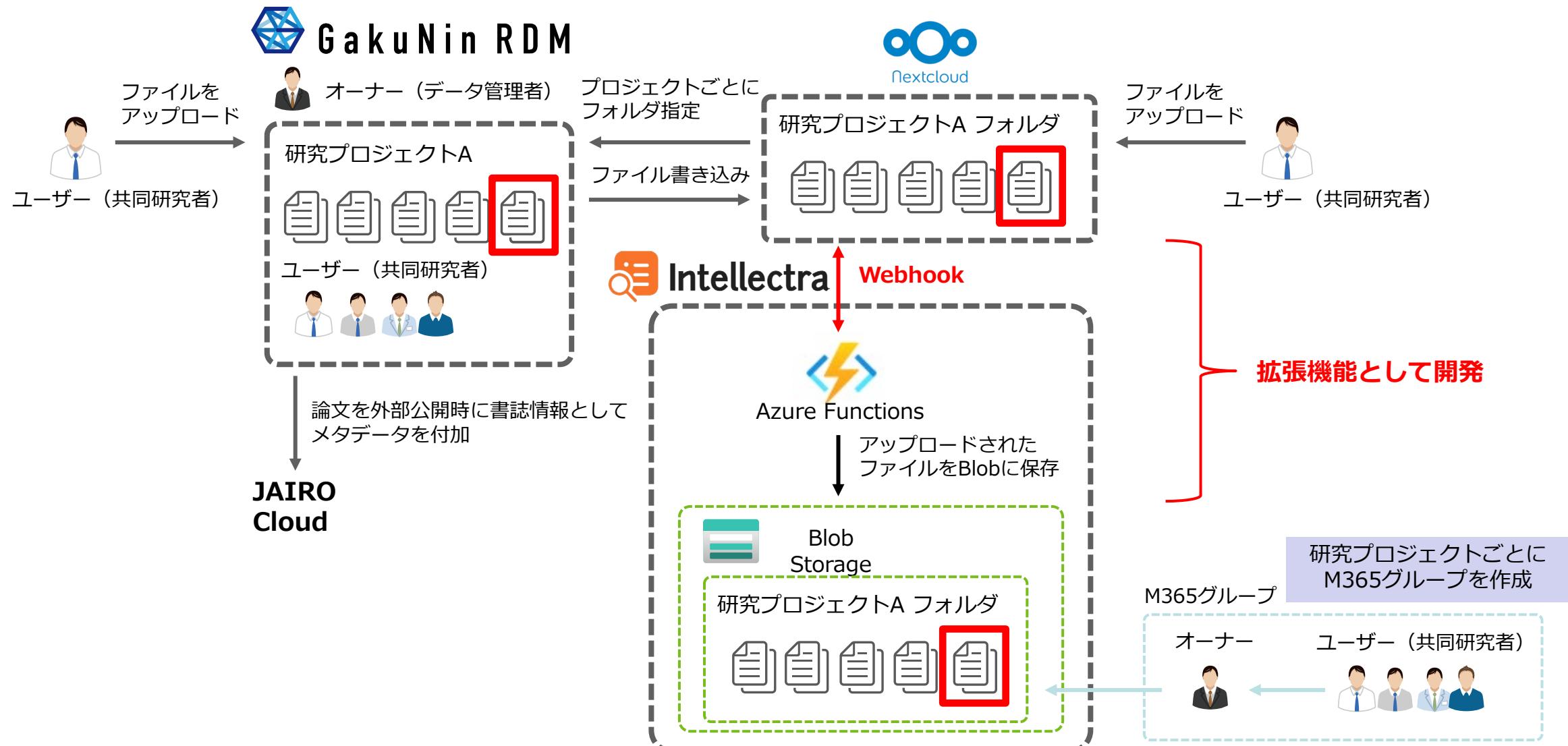
文献調査システムIntellectraの共同利用



◆ Microsoft 365テナント

- 中国四国コンソーシアムで運用
 - ✓ Microsoft Azure上に構築したIntellectraと連携
- プロジェクトメンバーの割当
 - ✓ プロジェクトリーダーは、チームの所有者として登録 (M365テナントのA1ライセンスユーザとしてチームを管理)
 - ✓ プロジェクトメンバーは、該当するチームにゲストユーザとして招待
 - ✓ GakuNin RDMのプロジェクトメンバーとは連動しない
- Intellectraのグループ
 - ✓ M365チームに連動
 - ✓ ユーザ単位、グループ単位でBlog Containerを共有
 - ✓ コンソ全體や機関単位も可

GakuNin RDMとの連携のための機能拡張



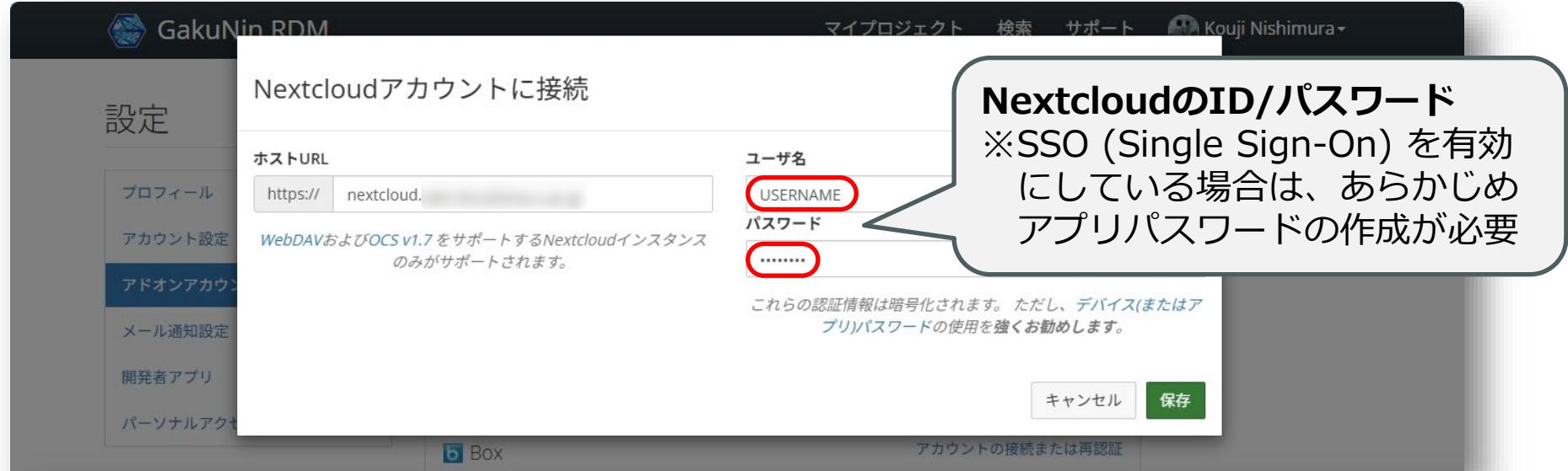
操作ビデオ

GakuNin RDM (連携フォルダ)へのファイル登録

GakuNin RDMへのNextcloudの接続

設定

- » アドオン
アカウント構成
- » Nextcloud
- » アカウントの接続
または再認証



Nextcloudアカウントに接続

ホストURL
https:// nextcloud.

ユーザー名
USERNAME

パスワード
.....

※SSO (Single Sign-On) を有効にしている場合は、あらかじめアプリパスワードの作成が必要

アドオン

- » アドオンを構成
- » Nextcloud
- » 有効にする



アドオンを構成

Nextcloud authorized by Kouji Nishimura

Current Folder /GakuNinRDM/Intellectra/

プロジェクトに対応するマウントポイント (Nextcloudのパス) を記録しておく

IntellectraへのNextcloudの接続

グループ管理

The screenshot shows the Intellectra interface with the 'Group Management' tab selected. A large callout box labeled '新規作成の場合' (When creating a new group) points to the 'Add' button in the 'Group Management' list. Another callout box labeled '既存グループを連携する場合' (When connecting an existing group) points to the 'Connect' button in the 'Nextcloud Connection' list. A central callout box labeled '先に記録しておいた Nextcloudのパス・ID・パスワードを入力' (Enter the recorded Nextcloud path, ID, and password) points to the input fields for 'Nextcloud/パス', 'Nextcloud ID', and 'Nextcloud パスワード' in both the 'Add' and 'Connect' forms.

Intellectra

チャット コンテンツ管理 グループ管理 intellectra-demo1@m365.jp

グループ管理

グループ一覧 + 追加 解除

新規作成の場合

既存グループを連携する場合

グループ名

Intellectra デモチーム

Intellectra チェック

共有フォルダ設定

Intellectraで利用するTeamsチームを選択

ご自身が所有者として登録されているMicrosoft 365グループの一覧が表示されます。

グループ表示

Intellectra デモチーム

Nextcloud連携

Nextcloud/パス
/GakuNinRDM/Intellectra

Nextcloud ID
USERNAME

Nextcloud パスワード
.....

追加 キャンセル

Nextcloud連携

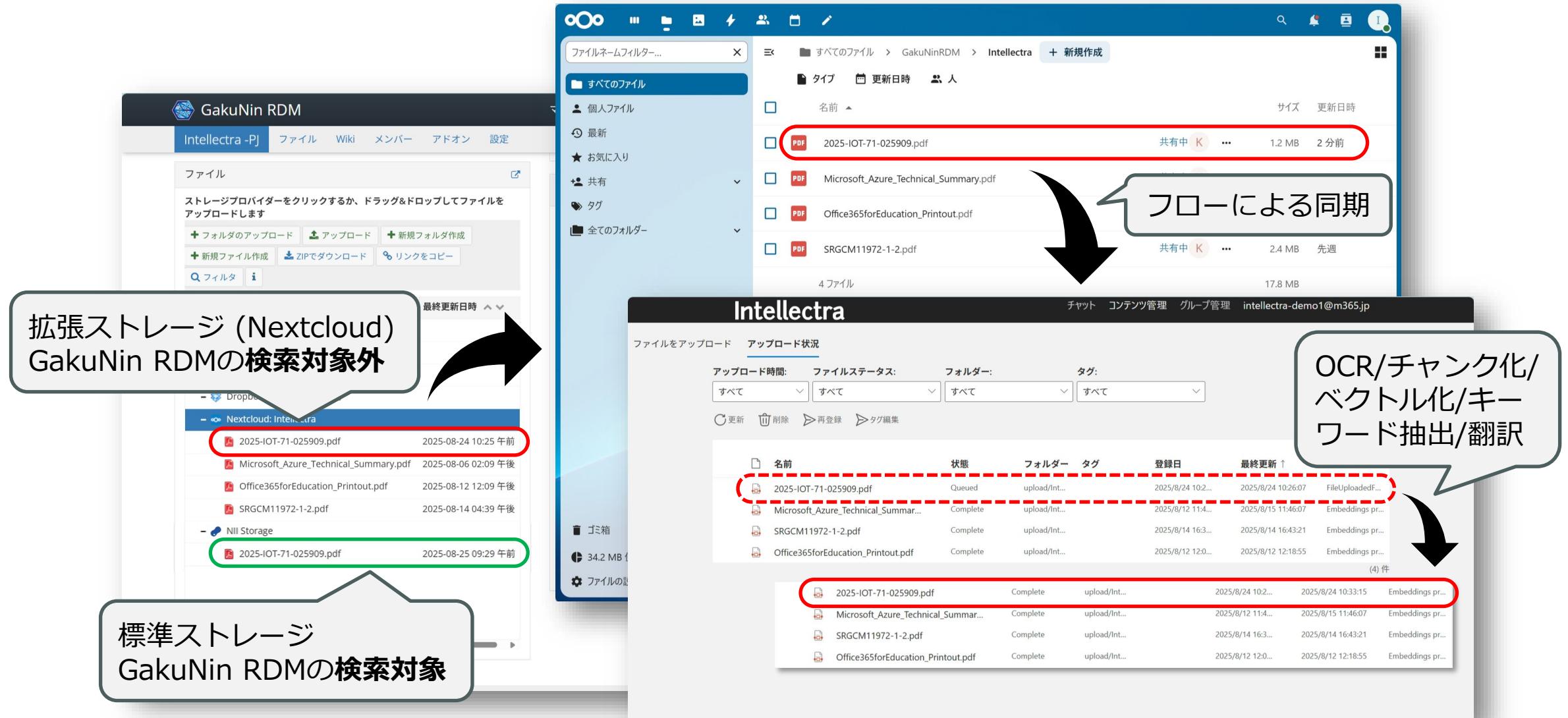
Nextcloud/パス
/GakuNinRDM/Intellectra

Nextcloud ID
USERNAME

Nextcloud パスワード
.....

連携 キャンセル

ファイル保存から検索対象化までの流れ



GakuNin RDMとIntellectraの検索機能

GakuNin RDMで「Intellectra」を検索すると…

...RDM マイプロジェクト

Intellectra

全検索結果 2

ファイル 1

プロジェクト 1

検索結果をしづる:

ページワン 株式会社ページワン

2025-IOT-71-025909.pdf

プロジェクト: Intellectra -PJ
フォルダ: Nil Storage
更新者: Kouji Nishimura (private)@UJMD3 at 2025/8/25, 作成者: keiei dair

Intellectra -PJ GUID: R52TC

説明: PAGEONEのテストプロジェクト
メンバー: keiei daimaruya@6NPR, Misato Oyama@QWAUB, K
所属機関: Orthros

タグ: ページワン 株式会社ページワン
更新者: keiei daimaruya@6NPR at 2025/8/14, 作成者: keiei dair

前のページ 1 次のページ

(プロジェクト名で) 標準ストレージのファイルがヒット

Copyright © 2016-2025 国立情報学研究所 | 利用規約 | プライバシーポリシー

Intellectra

新しいチャット アップロードデータ使用 アップロードデータなし ベルソナ検証

Intellect... Microsoft...

Intellectraでは「Intellectraの機能とGakuNin RDMとの連携について現状を教えてください」と内容検索が可能

Generated Answer

あなたがアップロードしたデータ

Intellectraは、GakuNin RDMとの連携です。具体的には、以下

1. Nextcloudとの接続: GakuNin RDMはNextcloudと接続されます。これにより可能になります。
2. 自動登録機能: GakuNin RDMは自動で新規登録が可能になります。
3. 設定手順: 研究プロジェクトの登録手順を示す手順が記載されています。

この連携により、GakuNin RDMでの検索がより簡単になります。

引用: 1. Intellectra デモテーマ/2025-IOT-71-025909.pdf
2. Intellectra デモテーマ/2025-IOT-71-025909-6.json

新しい質問を入力してください

Intellectra

新しいチャット アップロードデータ使用 アップロードデータなし ベルソナ検証

Intellect... Microsoft...

Intellectraでは「Intellectraの機能とGakuNin RDMとの連携について現状を教えてください」と内容検索が可能

Generated Answer

あなたがアップロードしたデータ

Intellectraは、GakuNin RDMとの連携です。具体的には、以下

1. Nextcloudとの接続: GakuNin RDMはNextcloudと接続され、研究プロジェクトのフォルダがマウントされます。これにより、研究者がGakuNin RDMやNextcloudに保存した資料がIntellectraで検索可能になります。
2. 自動登録機能: GakuNin RDMに保存された資料は自動的にIntellectraに登録され、自然言語での柔軟な検索が可能になります。これにより、共同研究や研究支援における知識の発見と再利用が促進されます。
3. 設定手順: 研究プロジェクトリーダーは、GakuNin RDMの「設定」メニューからNextcloudを追加し、アカウント情報を登録します。その後、研究プロジェクトにNextcloudをアクティブにして、必要なフォルダをマウントすることができます。

この連携により、GakuNin RDM内の研究データの利用が向上し、研究者の支援が強化されることを目指しています。

引用: 1. Intellectra デモテーマ/2025-IOT-71-025909.pdf
2. Intellectra デモテーマ/2025-IOT-71-025909-6.json

AI生成のコンテンツは誤っている可能性があります

新しい質問を入力してください

チャット コンテンツ管理 グループ管理 intellectra-demo1@m365.jp

チャットをクリア 調整

思考過程 サポートコンテンツ 引用

ドキュメント情報 ドキュメント

メタデータ

ファイル名 upload/intellectra デモテーマ/2025-IOT-71-025909.pdf

ファイルURI https://infoasststoreappn.blob.core.windows.net/upload/Intellectra%20-IOT-71-025909.pdf

タイトル 研究データ管理における閉域内論文検索の必要性と実装; Necessity and Implementation of a Closed-Domain Search Function in Research Data Management

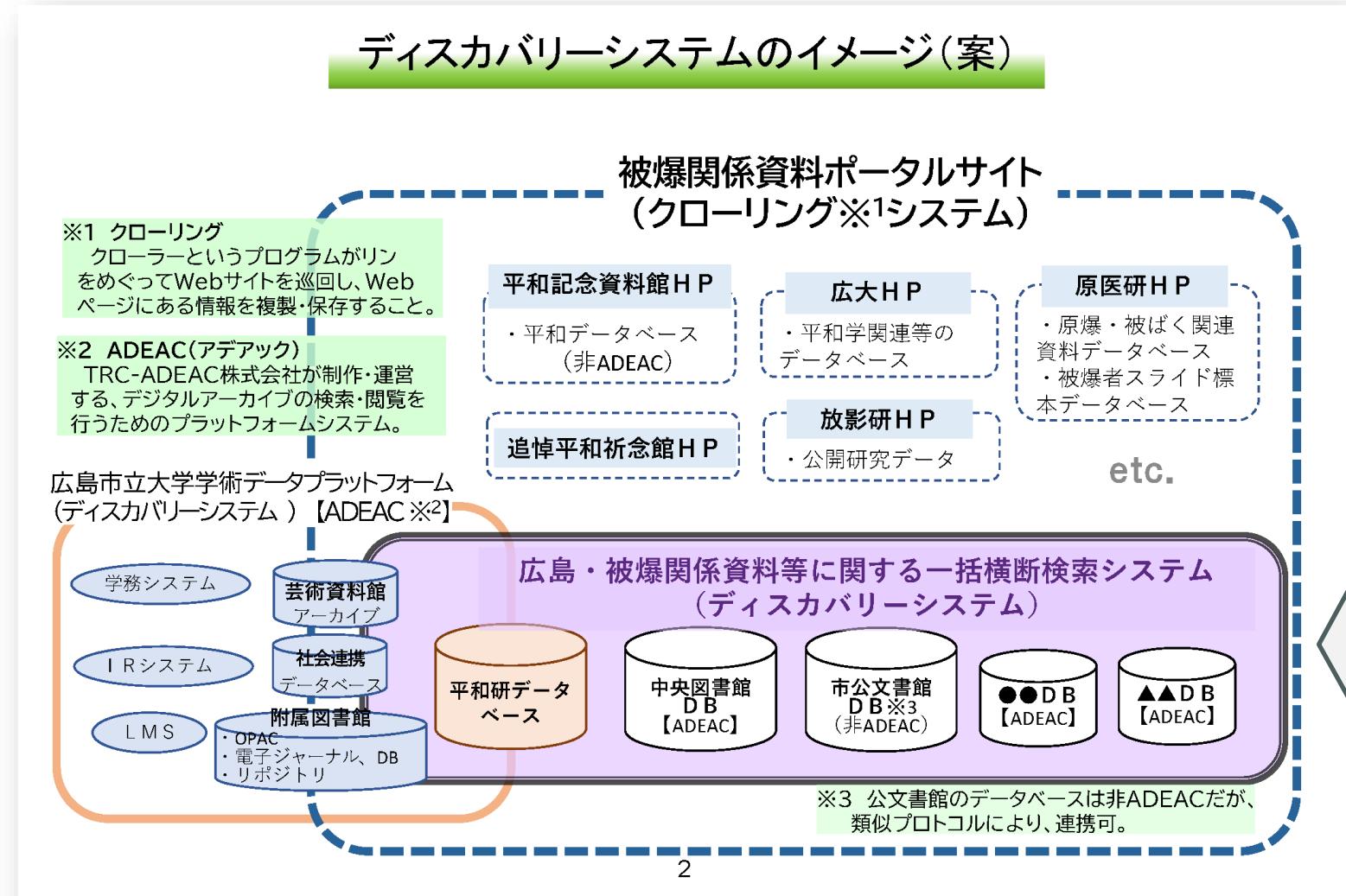
セクション 2. 背景と課題および検索機能の必要性

ページ番号 2

トークン数 417

コンテンツ における役割分担の明確化や、重複作業の回避、新たな発想の誘発にもつながる。このような課題に対応するため、中国四国コンソーシアムではGakuNin RDMにAI機能を持った検索機能を追加することで、研究者だけでなく、研究支援者の支援を加速することを目的の一つとして掲げている。その具体的な実施方法として、文献検索ツールであるIntellectraを用い、GakuNin RDMと連携させる仕組みを構築している。この仕組みにより、GakuNin RDMに保存された資料が自動的にIntellectraに登録され、自然言語による柔軟な検索が可能となることで、共同研究や研究支援における知識の発見と再利用が促進される。次章では、本章で示した課題と

クローズドな環境でのドキュメント探索の活用計画： ヒロシマ平和研究教育機構 ディスカバリーシステム



大学等連携推進法人 (令和6年3月28日認定)

- ・広島市、広島大学、広島市立大学、広島平和文化センターが連携
- ・事業(目的)：平和に関する研究、教育・人材育成、情報発信・提言
- ・課題と目標

- ✓ 広島・被爆関係資料には非定型ドキュメントが多く、検索可能な研究データとして取り込むことが難しかった
- ✓ Intellectraを活用し、非定型ドキュメントを取り込み、横断検索を試行する
- ✓ また、取り込まれた研究データに匿名化・仮名化等の処理を行うことで教育データとしての活用を検討する